

## 「自分軸で」

TAKUMI BASE 代表 たくみ 工 けいこ 恵子



営業内容: 高御位山の麓の小さな  
お料理教室  
※詳細については右記の  
Instagramをご確認ください



@KATY.TAKUMI

世の中には多数派と少数派  
がいて、私は明らかに少数派  
だと感じる。多くの人が支持  
しているものの価値がわから  
ないことが多いのだ。

昔からそうだった。りかち  
ゃん人形にも、キャラクター  
グッズにも、テーマパークに  
もアイドルにも心動かされる  
ことがない。上手に話を合わ  
せるということも苦手だ。だ  
から友達はずっと少なかった  
ように思う。ちなみに昔の通  
知表でも協調性はC評価しか  
もらったことがない。  
だから私がお商売を始めた

とて、皆が「良い」というものがわか  
らないのであるから、うまくいきつこ  
ない。なのに、1年半前に看護師を辞  
めて自宅でお料理教室を始めてしまっ  
た。それも1日1回必ず混ぜないとい  
けないという糠漬けと、砂糖やバター  
や小麦粉をたっぷり使ったケーキ教室  
を。しかも、高御位山の麓で最寄りの  
駅は遠く、バスはほとんどなく、車で  
来てもらっても対向車とすれ違えない  
細い道を通るしかないこの場所だ。

ただ、13年前にここに引っ越してき  
てからは退屈な日というものがなくな  
った。土筆を炊いたり、グラッセを作  
ったり、よもぎのペースト、イタドリ  
や苗代苺、山葡萄、冬苺のジャムも作  
る。サルトリイバラの葉でお餅を包み、  
スギナやドクダミを干してお茶に入れ  
る。花屋にない庭木や雑草を生ける。

日本ミツバチが庭にやってきて、家  
族になって9年になる。マイペースの  
スローライフ。冬は薪ストーブだけで  
過ごす。自分が心地いいと思うことを  
する暮らしを続けるうちに、料理が決  
して得意でもなんでもないのに、ここ  
がいいと来てくださる方がだんだん増  
えてきた。

昨年、自宅から一軒挟んで崩れそう  
な古民家を購入した。夫婦で残りの時

間を目いっぱい遊べそうだと思って。  
私たちは『(TAKUMI) 2nd  
BASE』と呼んでいる。

牛小屋のついた大きな納屋を見た時  
ワクワクした。粗大ゴミで溢れて、雨  
漏りもして、隙間風が吹き抜け、壁が  
落ちそうになっていても。資金がない  
から近所で古民家を解体した時の古材  
をいただいできて、畳の下の荒板も大  
きな梁も太い大黒柱もほぼ使い切った。  
閉店する店舗やリニューアルする店舗  
の資材もたくさんいただいた。

今まで何の接点もなかった人たちが  
応援団になってくれたり、私と同じよ  
うに「セカンド」ができていくのを楽し  
みにしてくれている人がいる。改修す  
る中で、自宅ではできなかったこと、「セ  
カンド」ならできそうなことへの夢が  
膨らむ。事業を通じて、高御位山の麓  
での暮らしの良さを伝えられたらいい  
なと思う。

そうした中  
で少数派で  
もいいじゃ  
ないかと、  
今置かれて  
いる環境に  
感謝できる  
自分がある。



工さんがお料理教室で作られている  
ぬか漬け料理